

愛知県臨床衛生検査技師会

平成25年度
精度管理調査報告

微生物検査部門

精度管理事業部員
実務担当者

池崎幸司
中根一匡
望月まり子
原 祐樹

国家公務員共済組合連合会 名城病院
厚生連 江南厚生病院
(大)名古屋大学医学部附属病院
名古屋第二赤十字病院

平成25年3月8日(土)

平成25年度 微生物検査精度管理 概要

【参加施設】

63 施設

【設問内容】

菌株 2 種

菌株 1 菌の同定

菌株 2 菌の同定 + 薬剤感受性検査と判定

Photo Survey 2 題



【評価設定】

評価	回答	内容
A	正解	「基準」を満たし、極めて優れている
B	許容正解	「基準」を満たしているが、 改善の余地あり
C	不正解	「基準」を満たしておらず改善が必要
D	不正解	「基準」から極めて大きく逸脱し、 早急な改善が必要
なし	空欄	未参加・未回答

【評価基準】

【菌株：同定菌名】

	A 正解	B 許容正解	C 不正解	D 不正解
菌株 1	<i>Moraxella (Branhamella) catarrhalis</i>	<i>Moraxella (Branhamella) sp.</i>	※	その他 の菌名
菌株 2	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	<i>Pseudomonas sp.</i>	※	その他 の菌名

※付加コメント・フリーコメントに記載された内容を加味した評価

【Photo：推定菌名】

	A 正解	B 許容正解	C 不正解	D 不正解
Photo 設問1	<i>Listeria monocytogenes</i>	<i>Listeria sp.</i>	その他 の菌名	なし
Photo 設問2	<i>Plasmodium vivax</i> (三日熱マラリア原虫)	<i>Plasmodium sp.</i> (マラリア原虫)	その他 の菌名	なし

【評価基準/薬剤感受性試験(菌株2)】

【Disk拡散法】 6施設 (9.7%)

薬剤	A 正解	B 許容正解	C 不正解	D 不正解
IPM	≤13 mm R (耐性) 14-15 mm I (中間)	0 mm R (耐性)	≥16 mm S (感性)	なし
AMK	≥17 mm S (感性)	なし	≤14 mm R (耐性) 15-16 mm I (中間)	なし
CPFX	≤15 mm R (耐性)	16-20 mm I (中間)	≥21 mm S (感性)	なし

【微量液体希釈法】 56施設 (90.3%)

薬剤	A 正解	B 許容正解	C 不正解	D 不正解
IPM	≥16 R (耐性) =8 R (耐性)	= 8 I (中間)	≤4 S (感性)	なし
AMK	≤16 S (感性)	なし	= 32 I (中間) ≥64 R (耐性)	なし
CPFX	≥4 R (耐性) =2 I (中間)	= 2 R (耐性)	≤1 S (感性)	なし

【菌株：同定検査の成績】

	正解・許容正解	回答施設数	%
菌株1	<i>Moraxella (Branhamella) catarrhalis</i>	61/62	98.4
	<i>Moraxella (Branhamella) sp.</i>	1/62	1.6

	正解	回答施設数	%
菌株2	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	62/62	100

【Photo：推定菌名の成績】

	正解	回答施設数	%
Photo 1	<i>Listeria monocytogenes</i>	63/63	100

	正解	回答施設数	%
Photo 2	<i>Plasmodium vivax</i> (三日熱マラリア原虫)	63/63	100

【薬剤感受性試験の成績】

【Disk拡散法】 6施設

薬剤	正解	回答施設数	%
IPM	≤ 13 mm R (耐性) 14-15 mm I (中間)	4/6	66.7
AMK	≥ 17 mm S (感性)	6/6	100
CPFX	≤ 15 mm R (耐性)	5/6	83.3

【薬剤感受性試験の成績】

【微量液体希釈法】 56施設

薬剤	正解・許容正解	回答施設数	%
IPM	≥ 16 R (耐性) = 8 R (耐性) = 8 I (中間) ※	56/56	100
AMK	≤ 16 S (感性)	56/56	100
CPFX	≥ 4 R (耐性) = 2 I (中間)	51/52	98.1

※ CLSIのM100-S21(2011年)までの旧判定基準であったため許容正解とした。

【薬剤耐性菌の判定と必須追加コメント】

菌株 2	<p><i>Pseudomonas aeruginosa</i> (緑膿菌)</p> <ul style="list-style-type: none">近年、薬剤耐性緑膿菌（5類感染症・定点把握）やメタロ-β-ラクタマーゼ産生株も検出されており、病院感染として問題となっている。
薬剤 感受性 試験	<ul style="list-style-type: none">多剤耐性緑膿菌（MDRP）ではない IPMとCPFXの2剤に耐性傾向を示す株であった。感染症法で規定された菌ではない 治療上、感染対策上でも監視菌として扱う必要があると思われるが、感染症法で定められた菌ではない。メタロ-β-ラクタマーゼ産生菌ではない

【まとめ】

- 参加施設は63施設で横ばい傾向であった。
- 菌株を用いた同定検査の正解率は、*M.catarrhalis*(98.4%)、*P.aeruginosa* (100%)と良好な成績であった。
- 薬剤感受性判定では、CLSIの新しい基準で判定され正しく報告できる施設が多く見られた。
- Photo Surveyの推定菌名は、*L.monocytogenes*(100%)、*P.vivax* (三日熱マラリア原虫)(100%)と良好な成績であった。

【最後に】

感染症法の改正後、菌株の管理、運搬、保管に関する取り扱いが厳しくなったことから、過去2年間はフォトサーベイのみの設問であったが、今回、菌株を用いたサーベイを行うことが出来た。

臨床分離株を用いたため、薬剤感受性検査において若干の変動が見られた。用いる菌株や測定機器および測定法による薬剤感受性の結果の相違も含めて、今後の検討課題としたい。

愛知県臨床衛生検査技師会

平成25年度
精度管理調査報告

微生物検査部門

ご静聴ありがとうございました

平成25年3月8日(土)